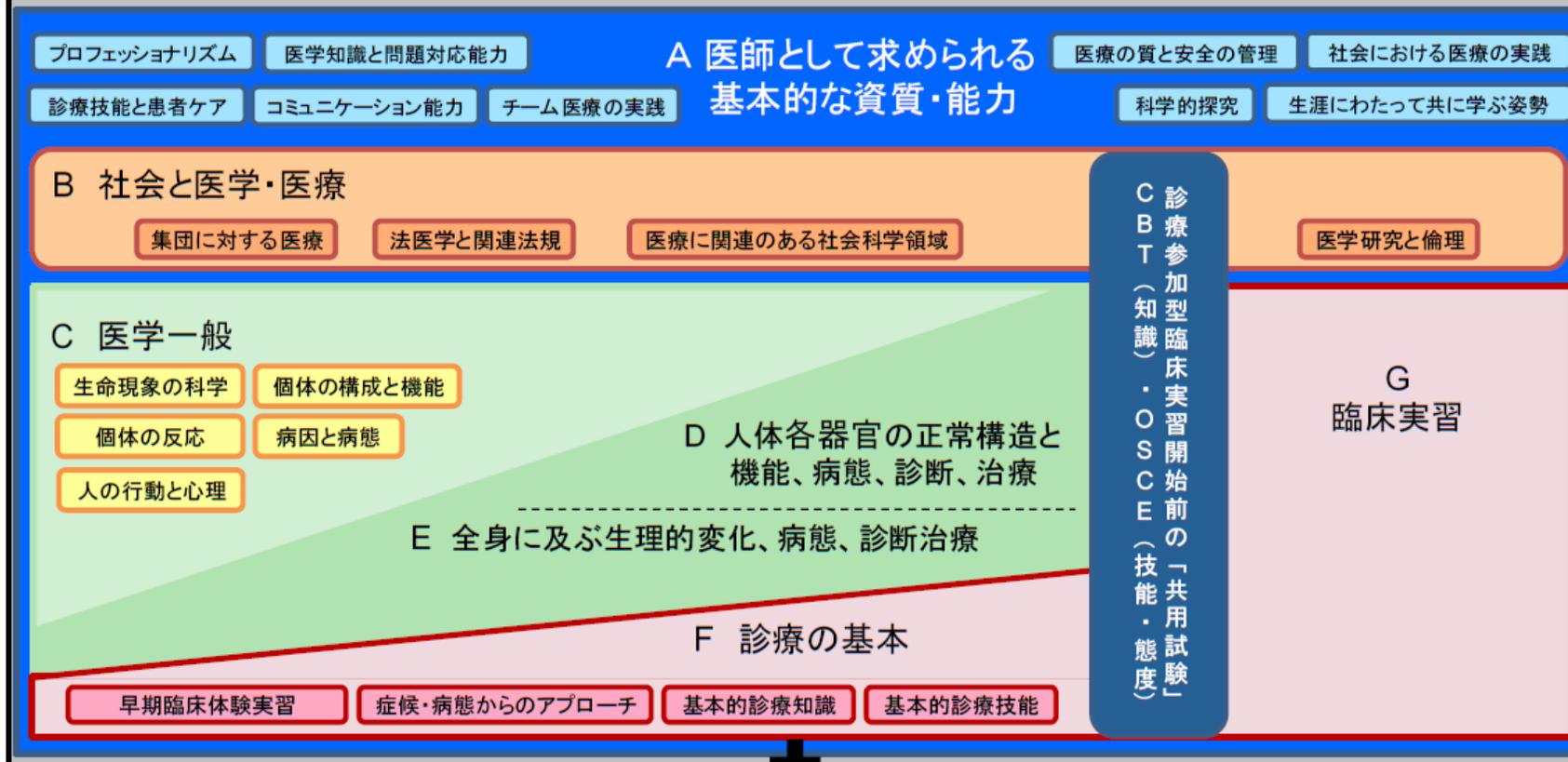


教養教育の現状

医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版) 概要

- 学生が卒業時まで身に付けておくべき、必須の実践的診療能力(知識・技能・態度)を、「ねらい」と「学修目標」として明確化
- 学生の学修時間数の3分の2程度を目安としたもの
- 「医師として求められる基本的な資質と能力」として、ミニマム・エッセンスである項目を記載

多様なニーズに対応できる医師の養成

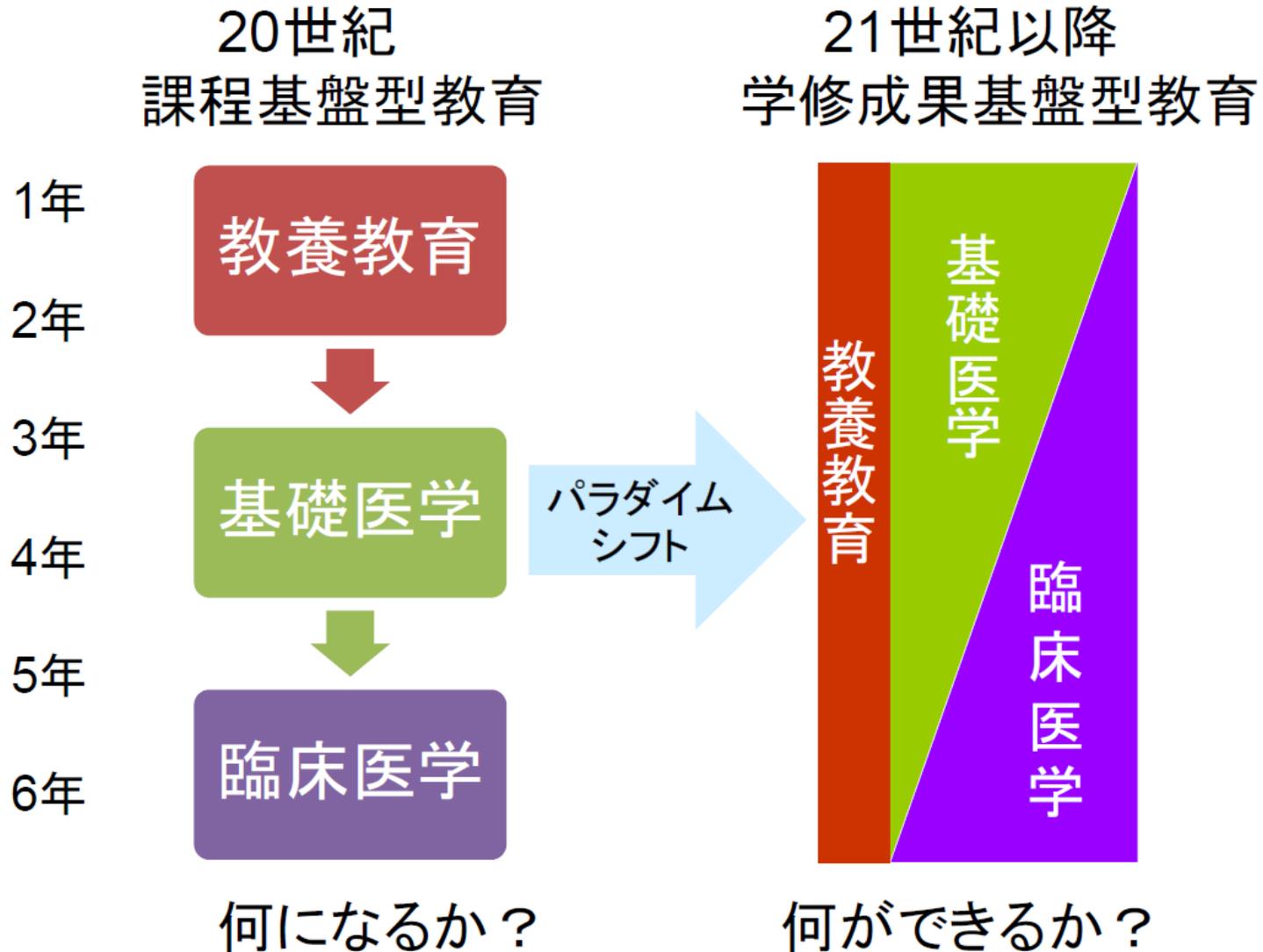


POST
 CC
 OSCE
 (知識)
 (技能・態度)

各大学の特色ある独自のカリキュラム

- 各大学が教育理念に基づいて実施する独自の教育内容(教養教育や、学生が自主的に選択できるプログラムを含む)
- 学生の学修時間数の3分の1程度

3) 統合型教育: 医学教育カリキュラムの変遷



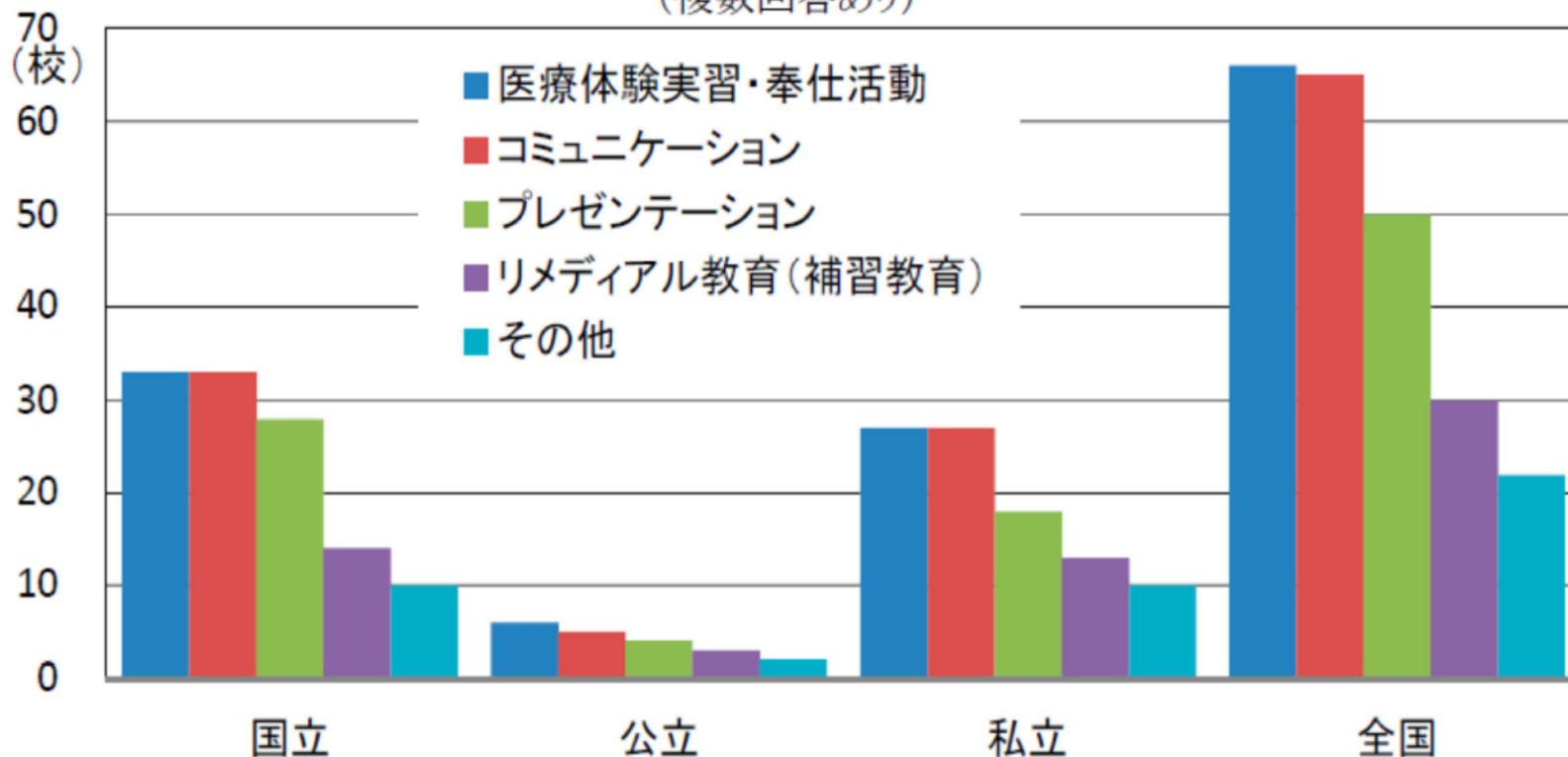
統合型教育の導入状況(複数回答を含む)

	国立	公立	私立	全国
回答数(校)	39	8	29	76
1. 基礎医学間の水平統合型教育	13	4	14	31
2. 臨床医学間の水平統合型教育	32	5	20	57
3. 基礎医学-臨床医学の垂直統合型教育	26	4	18	48

AJMCカリキュラム調査WG資料(平成29年度)

1) 教養教育の充実

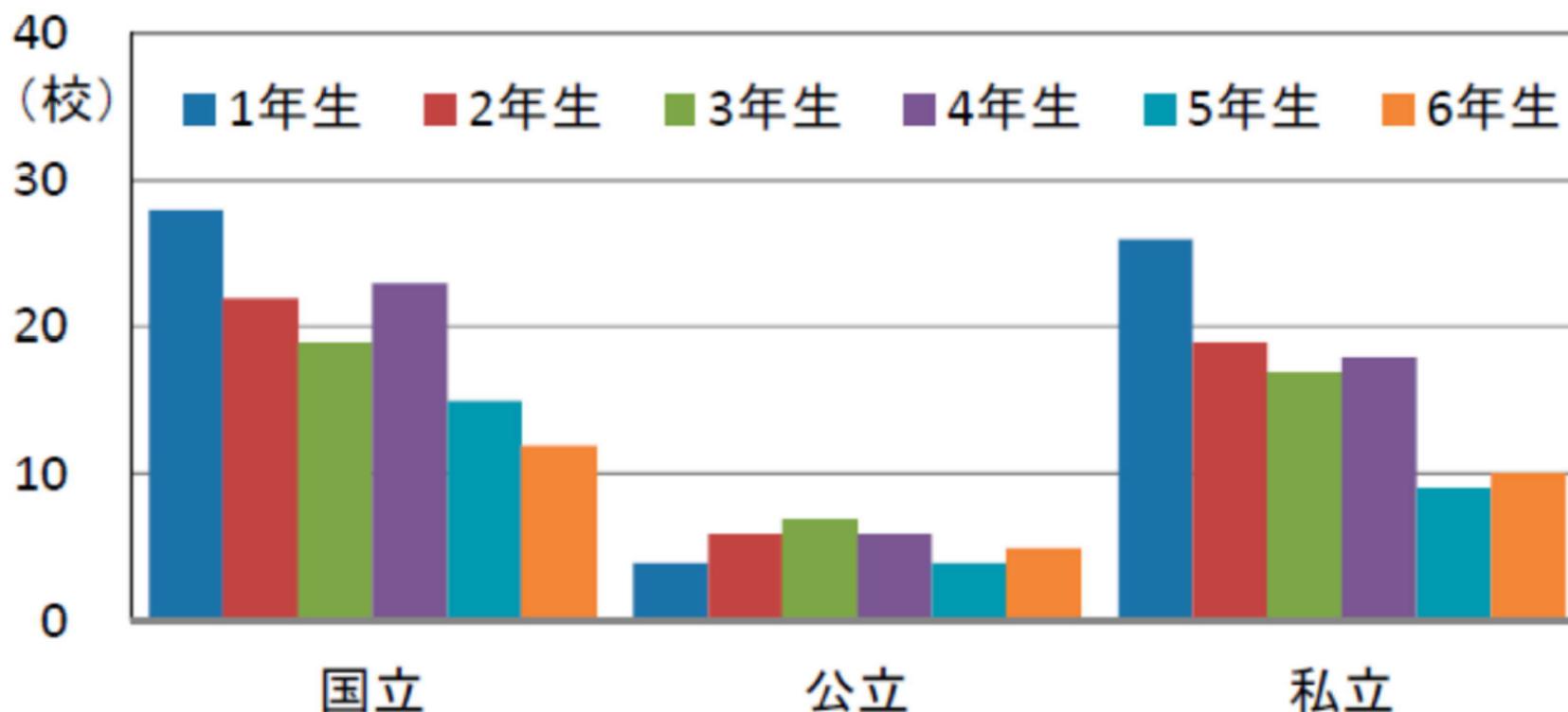
■ 図 2-H2 初年次教育のカリキュラムの種類
(複数回答あり)



AJMCカリキュラム調査WG資料(平成29年度)

2) プロフェッショナルリズム教育の充実

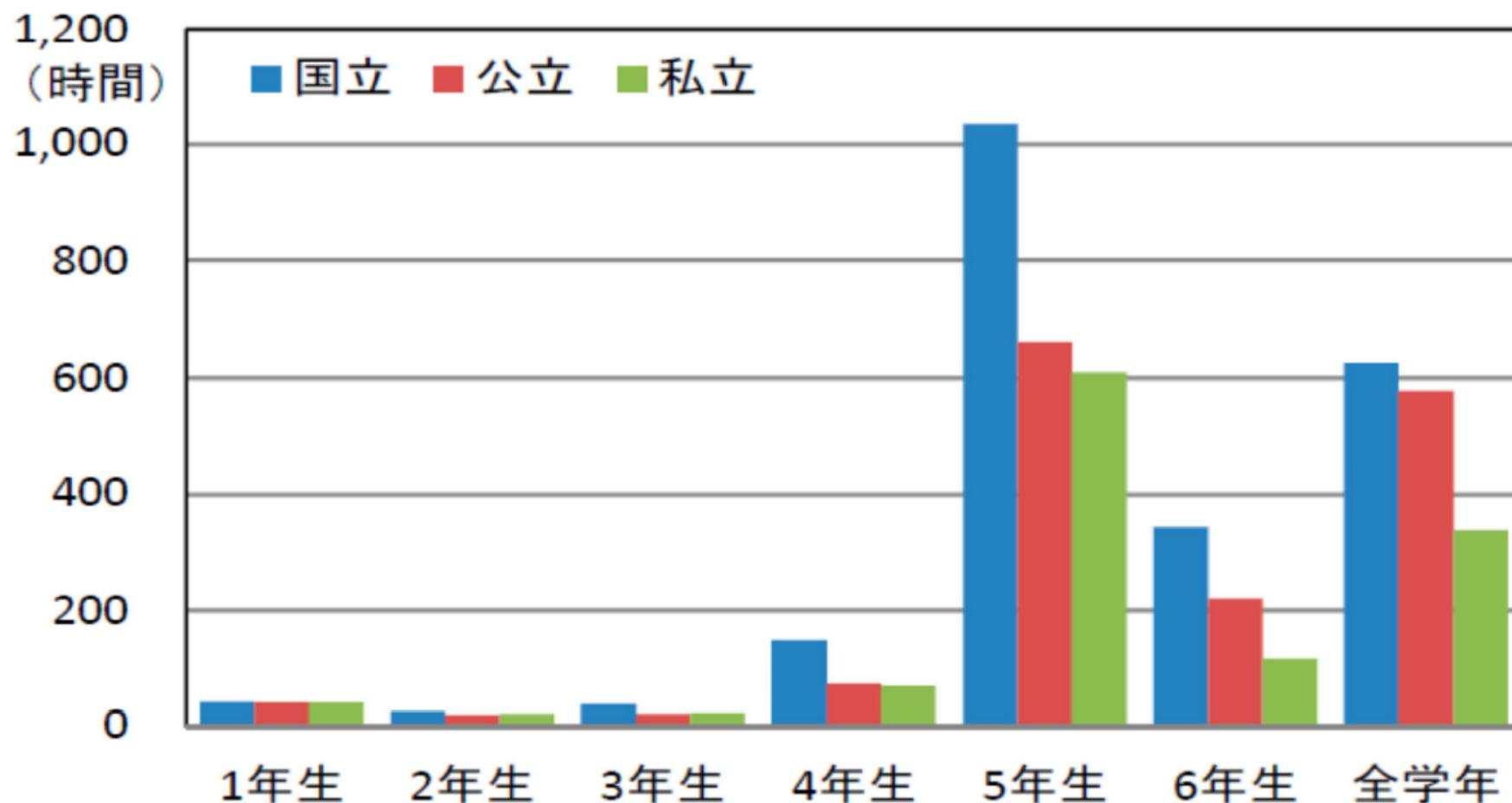
■ 図 3-A1-1 学年別実施状況



※: 国立2校は実施していないと回答

AJMCカリキュラム調査WG資料(平成29年度)

■ 図 3-A1-2 プロフェッショナリズム教育の1校平均実施時間



AJMCカリキュラム調査WG資料(平成29年度)